

■コメント

1. RSウイルス感染症

定点当たり報告数は1.75人と、再びやや増加しました。今後も引き続き注意が必要です。

この疾患は年齢が低いほど重症化しやすく、肺炎や気管支炎を引き起こすことがあるため、乳幼児は早めに医療機関を受診することをお勧めします。

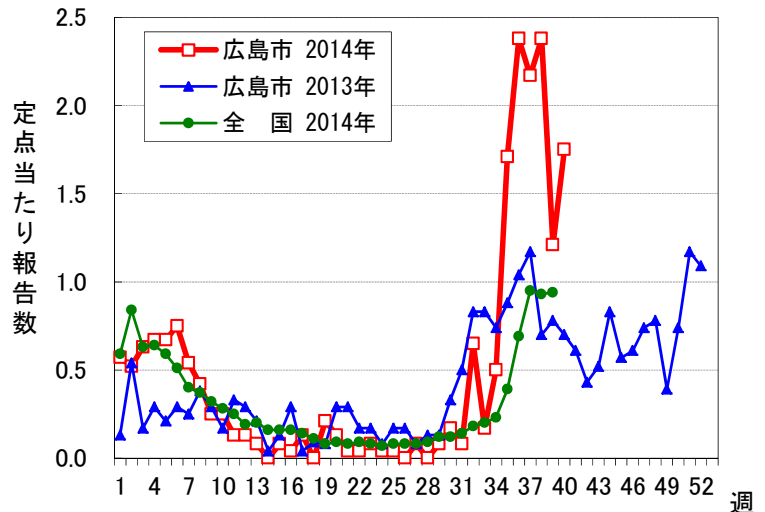
2. デング熱

推定感染地国外の報告が、今年初めて1件ありました。(次頁参照)

3. 後天性免疫不全症候群

1件の報告があり、今年の累計は15件となりました。

RSウイルス感染症の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間	発生記号
フィリ	インフルエンザ	1	0.03	0.75		小児科	流行性耳下腺炎	19	0.79	0.49	
小児科	咽頭結膜熱	9	0.38	0.23			RSウイルス感染症	42	1.75	0.49	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	45	1.88	0.70		眼科	急性出血性結膜炎	1	0.13	-	
	感染性胃腸炎	64	2.67	3.24			流行性角結膜炎	13	1.63	0.75	
	水痘	16	0.67	0.84		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	24	1.00	0.67			無菌性髄膜炎	-	-	0.11	
	伝染性紅斑	-	-	0.10			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.23	
	突発性発しん	12	0.50	0.53			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	-	-	0.17			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	3	0.13	0.26							

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇐ ⇒ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	6	131	女性(20歳代)・2人、男性(40歳代)・1人、男性(70歳代)・2人、女性(80歳代)・1人
4	デング熱	1	1	女性(20歳代)・推定感染地域: 国外
5	アメーバ赤痢	1	9	男性(60歳代)
5	後天性免疫不全症候群	1	15	男性(60歳代)・感染者

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶血性 レンサ 球菌咽頭 炎	感染性胃腸 炎	水痘	手足口病	伝染性紅 斑	突発性発し ん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性耳下 腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性 結膜炎	流行性角結 膜炎	細菌性髄膜 炎	無菌性髄膜 炎	マイコプラズ マ肺炎	クラミジア肺 炎	(ロタウイルス) 感染性胃腸炎
報告数	広島市	第36週	1	4	31	87	15	25	-	13	1	25	9	57	-	6	-	-	1	-	-
		第37週	-	4	28	89	20	32	-	10	2	8	11	52	-	10	-	2	1	-	-
		第38週	-	6	30	59	17	20	-	10	1	9	17	57	1	13	-	-	2	-	-
		第39週	6	4	42	70	16	16	-	9	2	3	18	29	-	10	-	-	-	-	-
		第40週	1	9	45	64	16	24	-	12	-	3	19	42	1	13	-	-	-	-	-
定点当 たり	広島市	第36週	0.03	0.17	1.29	3.63	0.63	1.04	-	0.54	0.04	1.04	0.38	2.38	-	0.75	-	-	0.14	-	-
		第37週	-	0.17	1.17	3.71	0.83	1.33	-	0.42	0.08	0.33	0.46	2.17	-	1.25	-	0.29	0.14	-	-
		第38週	-	0.25	1.25	2.46	0.71	0.83	-	0.42	0.04	0.38	0.71	2.38	0.13	1.63	-	-	0.29	-	-
		第39週	0.16	0.17	1.75	2.92	0.67	0.67	-	0.38	0.08	0.13	0.75	1.21	-	1.25	-	-	-	-	-
		第40週	0.03	0.38	1.88	2.67	0.67	1.00	-	0.50	-	0.13	0.79	1.75	0.13	1.63	-	-	-	-	-
	全国	第38週	0.04	0.32	0.99	2.90	0.46	0.83	0.15	0.54	0.01	0.93	0.29	0.93	0.01	0.51	0.01	0.03	0.24	0.01	0.02
		第39週	0.07	0.27	1.19	2.92	0.56	0.66	0.15	0.55	0.01	0.63	0.29	0.94	-	0.48	0.01	0.04	0.28	0.01	-

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
百日咳	発熱(37.2) 上気道炎	0	男	2014/09/18	咽頭拭い液	百日咳菌
百日咳	咳	8	男	2014/09/23	咽頭拭い液	百日咳菌

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】デング熱の国内感染症例について

●国内でデング熱に感染した人の居住地

都道府県名	東京都	埼玉県	神奈川県	千葉県	新潟県	大阪府	茨城県	山梨県	静岡県	北海道
症例数	103	14	12	7	3	3	2	2	2	1
都道府県名	青森県	岩手県	秋田県	群馬県	兵庫県	山口県	愛媛県	高知県	計	
症例数	1	1	1	1	1	1	1	1	157	

推定感染地は、東京都内の代々木公園周辺や新宿中央公園など145名、千葉市1名、兵庫県西宮市1名、不明10名です。

厚生労働省発表(2014年10月7日現在)に基づく

広島市で第40週にデング熱患者の届出がありました。この患者は発症前に海外の流行地への渡航歴がありました。この患者から採取した血液を検査した結果、検出されたウイルスはデングウイルス2型であり、代々木公園等を推定感染地とする国内感染症例(デングウイルス1型)とは異なっていることが判明しました。

なお、国外の渡航地で感染したと推定されるデング熱患者は、近年広島市において年間 1～2例、国内では年間約200例報告されています。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目 1 番 2 号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2014年第40週(9月29日～10月5日)